



土木造園

人事委員会試験・選考

**特色のある大田区で、
区民の方々が豊かに過ごせるような
まちづくりに貢献したいです。**

現在は、道路台帳という道路の地図の作成や補正、土地の境界の位置や面積を測量する地籍調査や測量するうえで基礎となる基準点の保全などに携わっています。また、大田区が管理する道路の情報を管理・提供するための業務も行っています。その中で私は主に、基準点の調査や道路に関する図面などを管理するシステムのデータの検証や保守の業務を担当しています。

印象に残った仕事、達成感を感じた瞬間は

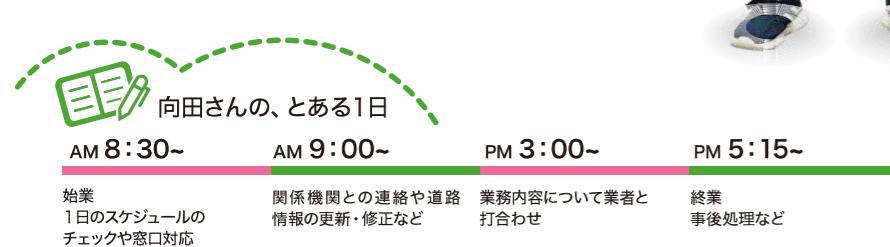
道路台帳などの図面の作成は、各関係部署とやり取りを行いながら作っていくので時間は掛かりますが、その分完成したときには大きな達成感を感じます。また、一つの図面にはさまざまな情報が含まれているため、説明する際には分かりやすく丁寧に伝えることを心がけています。

大田区に入区を決めたのは、なぜですか

大田区には空港や田園調布のまちなみなど魅力ある特色があり、23区で一番大きな面積を持つこの街でまちづくりに貢献したいと思い入区を決めました。実際に仕事をしてみると職場は風通しが良く、とても話しやすい環境です。

今後の目標はなんですか

これからは工事や維持管理などの業務も手掛け、現場にも行き、構造物が出来上がる過程を体験してみたいのです。また、今後さまざまな業務に携わる際に活用できるように、道路についての知識を深めていきたいと思っています。そして区民の皆さんのが豊かで安心して過ごせるように、幅広い視点から大田区のまちづくりに貢献できる職員になりたいです。



**建築にかかる幅広い業務に携わり、
魅力ある大田区の施設やまちなみを
より良い空間にしていくのが夢です。**

建築職としての業務は、まちづくりの推進や公共施設の設計・工事監理、建築物の許可申請にかかる審査など多岐にわたります。その中で私は、まちづくりにおけるバリアフリー化の促進にかかる業務を担当しています。高齢者や障がいをお持ちの方をはじめとした幅広い層の方々が、道路や駅、商業施設などにおいて、スムーズに移動できることを目的としてバリアフリー化の促進を行っています。



印象に残った仕事、達成感を感じた瞬間は

建築職として特にやりがいを感じる点は「仕事の成果が目に見える形となる」ことです。自分が携わった仕事が、より良い施設やまちなみにつながっていくということを考えると、とてもやりがいを感じます。

実際に大田区に入区して感じたことは

空港や商店街、町工場や住宅街などさまざまな特徴を持つ大田区で、建築にかかる幅広い業務に携わっていきたいと考え入区しました。当初、公務員の仕事は「決められた業務をこなす」というイメージを抱いていましたが、実際は「自ら考え、計画や筋道を立てていく」といったものでした。そうした業務の難しさを感じると同時に、自分自身の成長を感じています。

今後の目標はなんですか

大田区の建築職としての魅力は、まちづくり、公共施設の設計・工事監理、建築確認等の許認可審査、防災のまちづくりなど、異動を重ねてスキルアップできると同時に、様々な立場で「大都市の建築」に携わることができます。日々の業務や自己研鑽を通じて、着実に知識やノウハウを身に着け、大田区のまちなみや施設をより良い空間にしていきたいです。



建築

人事委員会試験・選考

